

発行日 28-10-2020

改訂日 28-10-2020

改定番号 1

1：化学品及び会社情報

製品名 高密度ポリエチレン共重合体 (High Density Polyethylene - Copolymer)

製品コード DHE0020, HDE2055

登録番号 情報なし

安全データシートの供給者の詳細

供給者

Braskem Idesa
Blvd. Manuel Ávila Camacho #36 piso 24
Col. Lomas de Chapultepec Del. Miguel Hidalgo
CP 11000, Ciudad de México - México
+52(55) 6234-1100

緊急連絡電話番号 CHEMTREC 日本（東京）：03-4520-9637ニホン

メールアドレス product.safety@braskem.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 ポリマー調剤及び化合物

推奨されない用途 情報なし

2：危険有害性の要約

GHS 分類

世界調和システム（GHS）による危険物有害性物質又は混合物でない

ラベル要素

危険有害性情報

- 区分に該当しない

予防

- 該当しない

対応

- 該当しない

保管

- 該当しない

廃棄

- 該当しない

他の危険有害性

- 製品の漏えい（洩）／漏出によって滑りやすくなる特別な危険性
- 取扱い中、静電気がおこることがあるトリアツカチュウセイデンキ
- 接地やボンディングを適切に行っても、この物資は静電気を蓄積するおそれがあるセッチテキセツオコナブッシセイデンキチク

セキ

・静電気が蓄積すると、放電及び可燃性の空気と蒸気の混合物の発火につながるおそれがあるセイデンキチクセキホウデンオヨカ
ネンセイクウキジョウキコンゴウブツハッカ

3 : 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

世界調和システム（GHS）による危険物有害物質又は混合物でない

化学名	CAS番号	重量%	化審法番号	安衛法番号
エチレン・1-ヘキセン共重合物	25213-02-9	>99	(6)-1594	9-335

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4 : 応急措置

吸入	空気の新鮮な場所に移すこと。 現れた症状が明らかに吸入の結果である場合には、医学的支援が必要である。
皮膚接触	皮膚を石けん（鹼）と水で洗うこと。 刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。 溶融製品に接触した場合には、直ちに冷水で皮膚領域を冷やすこと。 凝固した融解物質を皮膚から除去するには医学的な補助が必要である。
眼接触	まぶた（瞼）の裏側まで多量の水でよく洗うこと。 刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。
経口	無理に吐かせないこと。 水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。 意識のない者には、何も口から与えてはならない。 必要ならば医師に相談すること。
症状	製品の粉じんは眼、皮膚及び呼吸器系を刺激するおそれがある。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること。

5 : 火災時の措置

適切な消火剤	二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂、耐アルコール泡消火剤。 水噴霧又は水霧。
使ってはならない消火剤	火災を拡散するおそれがあるので棒状水を使用しないこと。

特有の危険有害性	粉じんの発生を避けること。空気中に分散した微細粉じんは着火するおそれがある。粉末、粉じん、削り屑、錐屑、加工屑、切削屑が爆発又は爆発的に燃焼するおそれ。
爆発性	微細な粉じんが十分な濃度で空気中に分散し、かつ着火源が存在する場合には、粉じん爆発危険有害性の可能性がある。
特有の消火方法	提供された情報に基づき知見なし。
消火を行う者のための特別な保護具	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	十分換気されているか確認すること。粉じんの発生を避けること。粉じんを吸入しないこと。眼に入らないようにする。指定された個人保護具を使用すること。全ての着火源を排除すること（近接区域は喫煙とし、裸火、火花又は火炎を排除すること）。静電気に対する予防措置を講ずること。
緊急対応を行う者のための保護具	8項で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	環境影響情報の詳細情報については12項を参照のこと。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい（洩）又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	粉じんの発生を避けること。清潔で火花を出さない道具を使用して不活性で湿った不燃性物質に吸収し、ゆるくカバーしたプラスチック容器に回収して後で廃棄すること。回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7: 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。粉じんの発生を避けること。粉じんを吸入しないこと。眼に入らないようにする。この生成物は電気伝導性が低いので帯電する可能性がある。十分に帯電すると引火性混合物に着火する可能性がある。静電放電の可能性を低減させるために適切なアース及び接地手順を使用すること。空中浮揚粉塵は爆発する可能性がある。粉塵は、特に水平な平面上に相当量堆積すると空中浮揚して可燃性の粉塵雲を形成し、さらに二次的な爆発の一因となるおそれがあるので、蓄積を防止すること。取扱および加工処理作業は「最良の慣行」（例えばNFPA - 654）に従って行わなければならない。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
----------	---

保管

安全な保管条件	乾燥した涼しい場所に、熱源になり得るもの、裸火、日光または他の化学物質から離して保管すること。スプリンクラーが装備された区域に保管すること。使用していないときは容器を閉めておくこと。混触危険物質から離して保管すること。詳細については項目10を参照。
---------	--

8: ばく露防止及び保護措置

設備対策	シャワー 洗眼場 換気システム。
許容濃度	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。
生物学的職業性ばく露限界値	供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性物質を一切含んでいない
環境ばく露防止	情報なし。
個人用保護具	
呼吸用保護具	通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。
眼、顔の保護具	サイドシールド付き保護眼鏡（またはゴーグル）を着用すること。熱間加工の間：密封性の高い安全ゴーグル。接触のリスクがある場合：顔面保護シールド。
手の保護具	適切な手袋を着用する。溶融物質の取扱時には耐熱手袋の使用が推奨される。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。熱間加工の間：長袖の衣類。保護靴又は長靴。

9: 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観	ペレット。	
物理状態	固体	
色	半透明、白色。	
臭い	情報なし	
臭いのしきい値	情報なし	
特性	値	備考・方法
pH	データなし	知見なし
融点・凝固点	110 - 170 °C / 230 - 338 °F	知見なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし	知見なし
引火点	データなし	知見なし
蒸発速度	データなし	知見なし
燃焼性（固体、気体）	データなし	知見なし
空気中での可燃限界		知見なし
可燃性又は爆発性の上限	データなし	
燃焼又は爆発の下限	データなし	
蒸気圧	データなし	知見なし
相対ガス密度	データなし	知見なし
相対密度	0.940 - 0.970 g/cm ³	知見なし
水への溶解度	水に不溶性	知見なし
溶解度	データなし	知見なし
分配係数	データなし	知見なし
自然発火温度	> 340 °C / > 644 °F	知見なし

分解温度	データなし	知見なし
動粘性率	データなし	知見なし
動的粘度	データなし	知見なし

その他の情報

爆発性	微細な粉じんが十分な濃度で空気中に分散し、かつ着火源が存在する場合には、粉じん爆発危険有害性の可能性がある。
酸化特性	情報なし。

10 : 安定性及び反応性

反応性	通常の使用条件下ではない。
安定性	通常の条件下で安定。
危険有害性反応危険性	通常のプロセスではない。
避けるべき条件	過剰な熱。 空気中での加熱。 粉じん形成。 300°C以上に加熱されると、有害な蒸気又はヒュームが発生し、呼吸器への刺激性、咳、息切れを引き起こすおそれがある。取扱い中は、粉じんの発生を防ぎ、すべての着火源（火花又は裸火）を取り除くこと。火災や爆発の防止のため、物質の移送の際は、事前に容器や機器を接地及びボンディングし、移送中の静電気放散を可能にすることユウガイマタハッセイコキュウキシゲキセイヒオトリアツカチュウフンハッセイフセチャッカゲンヒバナマタハダカヒトノゾボウシブシツサイジゼンオヨカノウ。
混触危険物質	強酸。 強酸化剤。 含塩素化合物。 芳香族溶剤。
危険有害な分解生成物	分解生成物の生成は、温度、空気への接触及び他の物質の存在に影響を受ける。処理の際、刺激性のヒューム、オレフィン及びパラフィン化合物、一酸化炭素及び二酸化炭素が発生するおそれがあるセイセイセシヨクオヨソソザイエイキョウウサイオヨオヨハッセイ。
爆発データ	
静電放電に対する感度	なし。
機械的衝撃に対する感度	なし。

11 : 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報
情報なし

症状	製品の粉じんは眼、皮膚及び呼吸器系を刺激するおそれがある。
経口	この化学物質または混合物の特定試験データはない。
吸入	この化学物質または混合物の特定試験データはない。 高濃度の粉じんを吸入すると、呼吸器系に刺激を引き起こすおそれがある。
皮膚接触	この化学物質または混合物の特定試験データはない。 粉じんに接触すると皮膚の機械的刺

	<p>激または乾燥を引き起こすことがある。</p>
眼接触	<p>この化学物質または混合物の特定試験データはない。粉じんが眼に接触すると機械的刺激を引き起こす可能性がある。</p>
皮膚腐食性／刺激性	<p>情報なし。</p>
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	<p>情報なし。</p>
呼吸器感作性又は皮膚感作性	<p>情報なし。</p>
生殖細胞変異原性	<p>情報なし。</p>
発がん性	<p>情報なし。</p>
生殖毒性	<p>情報なし。</p>
特定標的臓器毒性 - 単回ばく露	<p>情報なし。</p>
特定標的臓器毒性 - 反復ばく露	<p>情報なし。</p>
誤えん有害性	<p>情報なし。</p>

12 : 環境影響情報

生態毒性	<p>ペレット又はビーズ状の物質は、水鳥または水生生物により摂取され、機械的悪影響を起こすおそれがあるマタジョウブシツ。</p>
残留性・分解性	<p>情報なし。</p>
生体蓄積性	<p>情報なし。</p>
土壌中の移動性	<p>情報なし。</p>
他の有害影響	<p>情報なし。</p>

13 : 廃棄上の注意

残余廃棄物	<p>現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。</p>
汚染容器及び包装	<p>空容器を再利用しないこと。</p>

14 : 輸送上の注意

<u>日本</u>	<p>規制対象外</p>
<u>IMDG</u>	<p>規制対象外</p>
<u>IATA</u>	<p>規制対象外</p>

15 : 適用法令

該当製品に特有な安全、健康及び環境に関する規制

国内規制

日本

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない。

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

TSCA

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

DSL/NDSL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

EINECS/ELINCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

化審法インベントリ

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

IECSC

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

KECL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

PICCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

AICS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例 :

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー

DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト

EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト

ENCS - 化審法既存物質

IECSC - 中国現有化学物質名録

KECL - 韓国既存化学物質目録

PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

16 : その他の情報

発行日

28-10-2020

改訂日 28-10-2020

改訂記録 初期放出。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA (時間加重平均)	天井値	最大限界値
*	皮膚兆候	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献およびデータ源

米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州食品安全機関 (EFSA)
EPA (環境保護庁)
急性ばく露ガイドラインレベル (AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース (IUCLID)
日本政府によるGHS分類
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構 (NICNAS)
NIOSH (米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus (NLM CIP)
米国国家毒性プログラム (NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース (CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
RTECS (化学物質毒性データ総覧)
世界保健機構

免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートのおわり